

平成29年度  
 社会福祉法人 心友会  
 事業報告



実施事業名	事業所名
障害者支援施設 定員40名 (生活介護40名/施設入所支援40名)	しいのみ園
短期入所 定員18名	
日中一時支援 定員10名	
共同生活援助 定員25名	しいのみ園ほんだ
多機能型 定員30名 (生活介護20名、就労継続支援B型10名)	しいのみ園こころ
生活介護 定員20名	しいのみ園こころの都
放課後等デイサービス 定員10名 定員10名	しいのみ園ともたかだ しいのみ園ともみやこ
特定相談支援、一般相談支援、障害児相談支援 千葉県障害児等療育支援	相談支援センターしいのみ
地域包括支援事業	福祉のまちづくり支援室

基本理念・職員の使命	P 3
職員倫理綱領	P 4
職員行動規範	P 5～7
社会福祉法人心友会沿革	P 8～10
社会福祉法人心友会理事・評議員会開催状況	P 11～13

## I. 総務課

1. 総務係	P 1 4
2. 施設管理係	P 1 5
3. 医務係	P 1 6～1 7
4. 給食係	P 1 8

## II. 施設入所支援課

1. 障害者支援施設しいのみ園	P 1 9～2 2
(1) 施設入所支援 (2) 日中一時支援 (3) 生活介護 (4) 短期入所	

## III. 相談支援課 相談支援センターしいのみ

1. 特定相談支援事業・障害児相談支援事業	P 2 3～2 4
2. 一般相談支援事業	P 2 5
3. 千葉県障害児等療育支援事業	P 2 6～2 9

## IV. 地域生活支援課

1. 共同生活援助事業所	
しいのみ園ほんだ	P 3 0～3 1
2. 多機能型事業所しいのみ園ころ	P 3 2～3 4
3. 生活介護事業所しいのみ園ころの都	P 3 5～3 6
4. 放課後等デイサービス事業所	
しいのみ園ともみやこ	P 3 7～4 0
しいのみ園ともたかだ	P 4 1～4 3
5. 福祉のまちづくり支援室	P 4 4～4 5

## V. しいのみ園グループ委員会

1. 防災管理委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 4 6 ～ 4 8
2. 給食委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 4 9
3. 衛生委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 5 0

## VI. 決算報告

1. 貸借対照表・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 5 1
2. 事業活動収支計算書・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 5 2
3. 資金収支計算書・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 5 3
3. 経営指標（2期分）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 5 4
4. 人事記録・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 5 5
5. 事業組織図・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 5 6

社会福祉法人心友会

# 心友会

社会福祉法人心友会は、社会福祉法の理念に従い、法人の理念を定め実践する。

## 基本理念

---

親亡き後の子供達の為、国際社会、地域社会で人間らしく安心・安全・共生できる心豊かな施設づくり

## 職員の使命

---

1. 私達は、常に感謝の気持ちを持ち支援し続ける
2. 私達は、常に初心に戻り、自己研鑽し支援に活かし続ける
3. 私達は、利用者にとって最善の支援を考え実行し続ける
4. 私達は、地域の社会資源として、地域と共に歩み続ける
5. 私達は、福祉の未来を創造し続ける

# 社会福祉法人心友会職員倫理綱領

職員は、利用者一人ひとりの尊厳を守り、利用者がその人らしい自立した豊かな人生を自己実現できるよう支援することに努めなければなりません。

ここに、職員一人ひとりがその専門的役割を自覚するとともに、職員全員が共に協調し、公正かつ適切な支援をするための基本となる「職員倫理綱領」を定め、私たちの規範とします。

## 第1条 人権の擁護

いかなる差別、虐待、人権侵害も許さず、利用者の基本的人権を尊重し、擁護します。

## 第2条 人格の擁護

利用者の個性、主体性、可能性及び意思を尊重し、常に対等な立場で支援します。

## 第3条 心身の安全と健康の保持

利用者一人ひとりをかけがえのない存在として、心身の安全と健康の保持に努めます。

## 第4条 プライバシーの保護

利用者一人ひとりの尊厳を守るため、利用者のプライバシーの保護に努めます。

## 第5条 財産の管理

利用者の金銭や所有物等の財産については適正な管理に努めます。

## 第6条 専門的な支援

専門家としての使命と役割を自覚し、絶えず自己研鑽を重ね、自らの社会性の確立を図り、利用者に対する適切な支援の提供に努めます。

## 第7条 業務の透明性

利用者及びその家族等に対し、適切な情報の提供を行うことにより、業務の透明性の確保に努めます。

# 社会福祉法人心友会職員行動規範

この行動規範は、職員一人ひとりが「社会福祉法人心友会職員倫理綱領」に則り、利用者の人権を擁護し、公正かつ適切な支援をするための基本として定めます。

## 1. 基本的事項

### (1) 人権の擁護

- ① 利用者に対する命令的、威圧的、権威的な言葉使いや態度を慎み、常に対等な立場で、利用者主体の支援を行います。
- ② 家族・関係機関等との連携を図りながら、利用者一人ひとりのニーズに対応したサービスの提供を行います。
- ③ 利用者が障害の態様等に関わりなく、地域社会を構成する一員としてあらゆる体験の機会を得られ、市民生活が送れるよう支援します。

### (2) 人格の尊重

- ① 利用者をあだ名や呼び捨てで呼ぶことを慎み、呼称は「～さん」などの敬称を基本とします。
- ② 職員を「先生」と呼ばせること。また、職員間で「先生」と呼び合うことは慎みます。
- ③ 利用者の施設利用の開始に際しては、事前に見学や面接を行い、施設利用の目的、期間等を確認し、施設の基本方針、サービスプラン等を十分に説明するとともに、本人の施設利用の意思を確認します。
- ④ 利用者の生活歴を把握し、人としてより豊かな生活が送れるよう支援します。
- ⑤ 施設利用の終了については、本人及び家族等の意思を十分に確認し、適切に対応します。

### (3) 心身の安全と健康の保持

- ① 利用者の生活環境の整備を推進し、事故防止と安全確保に努めます。
- ② 常にきめ細やかなケアを心掛けるとともに、日頃から医療機関との綿密な連携を図り、利用者の健康保持に配慮します。
- ③ 利用者の薬の服用については、服用内容を十分確認し、適切に行います。
- ④ 利用者に関わる事故や疾病については、速やかに家族等に知らせ、本人及び家族等に十分説明します。

### (4) プライバシーの保護

- ① 職務上知り得た利用者の個人情報等については、秘密を保持します。
- ② プライベートな時間と場が確保されるよう配慮します。
- ③ 居住空間については、プライバシーを守ります。
- ④ ソーシャルメディア（ブログ、フェイスブック、ツイッター、掲示板、ホームページ等インターネットを利用した情報発信媒体をいう。）において機密情報を発信することも機密情報の使用、開示又は漏洩に当たるため、当該行為を絶対に行わないことを誓約いたします。

#### (5) 財産の管理

- ① 利用者の年金や預り金等の管理は、「金銭管理要綱」に基づき適切に行い、事故防止に努めるとともに、その使用については、利用者及び家族の意思に基づき行えるよう支援します。

#### (6) 専門的な支援

- ① 利用者一人ひとりの個性や障害態様等に応じ、可能性を伸ばし自立を促すような支援を行います。
- ② 利用者の意思を尊重し、各職員がその支援内容を共有し、連携のもとに支援します。
- ③ 利用者との対等な関係に基づく、信頼と納得が得られるサービスプランの立案を行います。
- ④ 利用者の生活が、社会一般の文化や生活習慣などができるだけ反映されたものとなるようにします。
- ⑤ 利用者が社会的なマナーやルールを身につけられるように、多様な機会を提供します。
- ⑥ 利用者が地域の社会資源を活用した体験の機会を多く持てるようにします。
- ⑦ 全ての利用者にとって「働く」ことの意義の理解が進むようにします。
- ⑧ 地域生活や就労生活に関する利用者の意向を尊重し、その可能性を育み実現に向け支援します。
- ⑨ 利用者の生活環境に配慮し、生活の場と作業の場を可能な限り明確に区別するようにします。

#### (7) 業務の透明性の確保

- ① 施設運営、支援内容等に関し、利用者や家族に定期的に説明するとともに、意見、要望等を聞く機会を設け、利用者等の意見が反映されるようにします。
- ② サービスの自己評価制度及び苦情解決制度を実施することにより、利用者に対するサービスの質の向上を図ります。

### 2. 日常生活における支援体勢

- ① 常に利用者と職員の挨拶を励行するとともに、利用者の日常的な会話に耳を傾け意思の疎通と情緒の安定を図ります。
- ② 利用者に対し、日常生活や行事等の日程は予め確実に伝え、円滑に日常生活を送れるようにします。
- ③ 食事や入浴等、生活時間にゆとりを持たせ、楽しくゆったり過ごせるようにします。
- ④ 利用者と交わした約束は守ります。

### 3. 禁止事項

ここに定める事項は、職員一人ひとりが厳に謹み、行ってはなりません。したがって利用者個々の状況により、一定の制限行為を実施する場合には、緊急止むを得ない場合及び事前に本人・家族等に十分説明し承諾を得た場合に限られます。また、この場合講じられる措置は、事業計画や個別支援プログラム等に明記し位置づけられ、実施される必要があります。

(1) プライバシー侵害の禁止

- ① 利用者の入浴、衣服の着脱、排泄等の際に異性職員による介助及びこれに準ずる支援をすること。
- ② 利用者個人宛の郵便物等を本人の了解なしに開封すること。
- ③ 利用者の衣服の着脱やトイレ使用の際、人目にふれるなど配慮に欠けること。
- ④ 本人の了解なしに居室に入ったり、所持品の確認をすること。
- ⑤ 利用者本人や家族の了解を得ずに、本人の写真、名前又は製作者名の入った作品を掲載、展示したりすること。

(2) 制限の禁止

- ① 自傷や他の利用者に害を与えるなどの理由により、安易に行動上の制限を加えること。
- ② 利用者と家族、知人との間の電話や手紙など制限すること。
- ③ 利用者の帰省、面会、外出等の自由を一方的に制限すること。

(3) 強要の禁止

- ① 命令口調や態度で利用者に指示すること。
- ② 作業等の諸活動に対し、いたずらにノルマを課すこと。
- ③ 施設側の都合で帰省や施設利用の終了を強要すること。
- ④ 利用者個々の人格を無視した画一的な行為を強要すること。

(4) 差別の禁止

- ① 殴る、叩く、蹴る等の暴力行為を行うこと。
- ② 正座・直立させるなどにより肉体的苦痛を与えること。
- ③ 身体拘束、閉じこめ等、行動を制限する行為を行うこと。
- ④ 健康上の理由のない食事制限や長時間の放置をすること。
- ⑤ 命令的、威圧的な言葉遣いや態度又は無視等による精神的苦痛を与えること。
- ⑥ 性的嫌がらせ、わいせつな行為をすること、又はわいせつな行為をさせること。
- ⑦ 利用者に関わる体罰等を見て見ぬ振りをすること。

社会福祉法人 心友会 沿革

平成10年 7月	社会福祉法人心友会設立準備委員会立ち上げ 千葉市緑区高田町知的障害者入所更生施設準備委員会開設
平成14年 3月20日	社会福祉法人心友会設立の認可（社会福祉法第32条の規定） 千葉市指令保障第406号
平成15年 3月1日	知的障害者更生施設「しいのみ園」 認可 事業者番号12100200033318 知的障害者短期入所「しいのみ園」 認可 事業者番号12100200033136
平成15年 4月1日	千葉市緑区高田町に知的障害者更生施設しいのみ園開所 （定員 50名 短期入所 6名）
平成17年 4月1日	児童短期入所認可（定員 宿泊6名 日中預かり15名）
平成18年 4月1日	自活訓練事業認可（定員2名） 事業者番号12100200033318
平成18年 10月1日	障害者自立支援法施行に基づく指定障害者福祉サービス事業 短期入所「しいのみ園」 認可 事業所番号1210100762
平成19年 4月1日	日中一時支援事業所認可（千葉市委託） 事業所番号1260100761 （定員 日中預かり型10名 放課後対策型15名）
平成20年 6月1日	共同生活介護・共同生活援助事業「しいのみ園ほんだ」 認可 事業所番号1220100216 運営開始（定員6名）（しいのみ園あゆみ）
平成20年10～3月	障害者自立支援基盤整備事業 しいのみ園デイコーナー増築・新支援員室の新設
平成21年 4月1日	生活介護事業「しいのみ園こころ」 認可 事業所番号1210101653 運営開始（定員20名）
平成21年 4月10日	共同生活介護・共同生活援助事業「しいのみ園ほんだ駅前」 運営開始（定員6名）（しいのみ園のぞみ）
平成21年 12月3日	韓国 学校法人 瑞江学園 瑞江情報大学 交流協約書の締結
平成22年 3月	財団法人中央競馬馬主社会福祉財団様 社団法人中山馬主協会様の助成により しいのみ園1階2階共用部廊下張り替え工事
平成22年 4月	千葉市障害児等療育支援事業認可（千葉市委託）
平成22年 7月	児童デイサービス（Ⅱ型）事業「しいのみ園とも」 認可 事業所番号1210100762 運営開始（定員10名）
平成23年 3月	社会福祉法人 清水基金様の助成によりトヨタノア購入

社会福祉法人 心友会 沿革

平成23年 4月	共同生活介護・共同生活援助事業「しいのみ園ほんだ2丁目」 運営開始（定員6名）（しいのみ園ひかり）
平成23年 4月	生活介護事業「しいのみ園こころの都」認可 事業所番号1210102065 運営開始（定員20名）
平成23年 5月	「しいのみ園とも」 「しいのみ園こころの都」事業所へ移動
平成23年 11月	財団法人 J K A様（オートレース補助事業）の助成によりトヨタハイエース購入
平成24年 4月	障害者自立支援法新法移行 障害者支援施設「しいのみ園」 事業所番号1210100762 運営開始（定員 生活介護40名/施設入所支援40名）
平成24年 4月	共同生活介護・共同生活援助事業「しいのみ園ほんだみどり」 運営開始（定員7名）（しいのみ園つばさ）
平成24年 4月	放課後等デイサービス事業「しいのみ園とも みやこ」事業所番号1250100144 運営開始（定員10名）
平成24年 4月	放課後等デイサービス事業「しいのみ園とも たかだ」事業所番号1250100136 運営開始（定員10名）
平成24年 4月	特定相談支援事業所「相談支援センターしいのみ」 認可 事業所番号1230100271 運営開始
	障害児相談支援事業所「相談支援センターしいのみ」 認可 事業所番号1270100033 運営開始
	指定一般相談支援事業所「相談支援センターしいのみ」 認可 事業所番号1230100271 運営開始
平成24年 4月	日中一時支援事業所（放課後対策型） 千葉県サービスの廃止により事業廃止
平成24年 7月	社会福祉法人 千葉県共同募金会様の助成により スズキワゴンR購入
平成24年 7月	障害者自立支援基盤整備事業 しいのみ園厨房/食堂 増改築工事
平成25年 4月	障害者総合支援法に移行
平成26年 3月	日本財団様の助成により スズキキャリィ購入
平成26年 4月	千葉県障害者短期入所増床事業 定員16名から18名へ変更
平成26年 4月	しいのみ園ほんだ 共同生活援助事業へ一元化
平成26年 6月	経済連携協定（EPA）事業を国際貢献事業として捉え受け入れ準備 （平成27年度フィリピン介護福祉士候補2名）
平成27年 3月	日本財団様の助成により ホンダ ステップワゴン2台購入
平成27年 3月	千葉県GHスプリンクラー整備事業 しいのみ園ほんだ（あゆみ、のぞみ、ひかり、つばさ）スプリンクラー整備完了

社会福祉法人 心友会 沿革

平成 27 年 12 月	経済連携協定（EPA）事業を国際貢献事業として捉え受け入れ開始 （平成 27 年度フィリピン介護福祉士候補 2 名）
平成 28 年 2 月	地域包括支援事業「福祉のまちづくり支援室」開設
平成 28 年 3 月	29 人乗りマイクロバス トヨタコースター購入
平成 28 年 3 月	日本財団の助成により（助成金額 1,260,000 円 総金額 1,825,633 円） しいのみ園こころの都 ホンダステップワゴン購入 ※8 人乗り
平成 28 年 3 月	しいのみ園 大規模修繕工事完了
平成 28 年 3 月	千葉県指定障害者グループホーム整備事業の助成により（助成金 15,584,000 円） 「しいのみ園ほんだ藤沢」（さくら寮）新築工事完了（総金額 20,779,740 円）
平成 28 年 3 月	千葉県障害者グループホーム自動火災報知設備整備補助金により 「しいのみ園ほんだ」（あゆみ寮）自動火災報知設備整備（助成金 181,000 円） 「しいのみ園ほんだ駅前」（のぞみ寮）自動火災報知設備整備（助成金 169,000 円）
平成 28 年 12 月	経済連携協定（EPA）事業を国際貢献事業として捉え受け入れ （平成 28 年度フィリピン介護福祉士候補 2 名）
平成 29 年 2 月	日本財団の助成により（助成金 930,000 円 総金額 1,166,000 円） しいのみ園 ホンダ N-BOX 購入 ※4 人乗り
平成 29 年 10 月	運動場設備工事完了
平成 29 年 12 月	財団法人 J K A 様の助成により（助成金 1,725,000 円 総金額 3,817,000 円） しいのみ園 トヨタハイエース購入 ※10 人乗り

# 平成29年度理事・評議員会及び評議員選任・解任委員会の開催状況

社会福祉法人 心友会

## 1. 会議の開催

### (1) 理事会開催

#### 第49回理事会 平成29年5月27日

〈議決事項〉

- 第1号議案 平成28年度 社会福祉法人心友会決算（案）の件
- 第2号議案 平成28年度 社会福祉法人心友会事業報告（案）の件
- 第3号議案 社会福祉法人 心友会 理事長選任（案）の件
- 第4号議案 ふくろう屋2号店 土地建物買収（案）の件

#### 第50回理事会 平成29年8月19日

〈議決事項〉

- 第1号議案 育児休業規程変更（案）の件
- 第2号議案 介護休業規程変更（案）の件
- 第3号議案 職員就業規則変更（案）の件
- 第4号議案 パート職員・契約職員・嘱託職員・アルバイト就業規則変更（案）の件
- 第5号議案 役員退任手当変更（案）の件

#### 第51回理事会 平成29年11月18日

〈議決事項〉

- 第1号議案 平成29年度 社会福祉法人心友会第一次補正予算（案）の件
- 第2号議案 社会福祉法人心友会 常勤理事の職務執行について（案）の件

#### 第52回理事会 平成30年1月20日

〈議決事項〉

- 第1号議案 学校法人瑞江学園瑞永大学校所属学生3名の職員採用試験（案）の件
- 第2号議案 福祉ソフト5年経過による更新に関する購入先（案）の件
- 第3号議案 社会福祉法人心友会役員等報酬規程改正（案）の件
- 第4号議案 強行棟建築計画再考（案）の件
- 第5号議案 社会福祉法人心友会職員紹介について（案）の件
- 第6号議案 社会福祉法人心友会評議員会次回開催（案）の件
- 第7号議案 来年度EPA介護福祉士候補生（案）の件

### 第53回理事会 平成30年3月17日

〈議決事項〉

- 第1号議案 平成29年度 社会福祉法人心友会第二次補正予算（案）の件
- 第2号議案 平成30年度 社会福祉法人心友会事業計画（案）の件
- 第3号議案 平成30年度 社会福祉法人心友会予算（案）の件
- 第4号議案 社会福祉法人心友会給与規程変更（案）の件
- 第5号議案 社会福祉法人心友会経理規程変更（案）の件
- 第6号議案 社会福祉法人心友会ともたかだ運営規程変更（案）の件
- 第7号議案 社会福祉法人心友会ともみやこ運営規程変更（案）の件
- 第8号議案 社会福祉法人心友会役員退任手当変更（案）の件
- 第9号議案 社会福祉法人心友会講師料等支払規程変更（案）の件
- 第10号議案 障害者支援施設しいのみ園貯水槽井戸ポンプ交換（案）の件
- 第11号議案 社会福祉法人心友会新管理者候補推薦（案）の件
- 第12号議案 社会福祉法人心友会新評議員候補推薦（案）の件

### (2) 評議員会開催

#### 第49回評議員会 平成29年5月27日

〈議決事項〉

- 第1号議案 平成28年度 社会福祉法人心友会決算（案）の件
- 第2号議案 平成28年度 社会福祉法人心友会事業報告（案）の件
- 第3号議案 社会福祉法人 心友会 理事及び監事選任（案）の件
- 第4号議案 ふくろう屋2号店 土地建物買収（案）の件

#### 第50回評議員会 平成30年2月24日

〈議決事項〉

- 第1号議案 社会福祉法人心友会役員等報酬規程改正（案）の件

### (3) 評議員選任・解任委員会開催

#### 第2回理事会 平成29年6月22日

〈議決事項〉

- 第1号議案 社会福祉法人心友会評議員逝去による評議員解任（案）の件
- 第2号議案 社会福祉法人心友会新評議員選任（案）の件

#### 第3回理事会 平成30年3月17日

〈議決事項〉

- 第1号議案 社会福祉法人心友会評議員解任（案）の件
- 第2号議案 社会福祉法人心友会新評議員選任（案）の件

# I. 総務課

## 1. 総務係

作成者 中根慶太

### 運営総括

社会福祉法の改正に伴った、経営組織の見直し、定款、規程類の変更等、各種手続きを円滑に行った。

将来の介護人材確保のため、韓国瑞永大学校と連携した韓国人学生採用を行った。韓国外国人介護福祉士候補生介護ビザ取得に向けて法人全体で取り組んでいく。

法人本部機能の強化を図るため、一部の業務をマニュアル化する等して、業務の標準化を図り、組織力向上に努めた。

### 事業内容

- (1) 公印の保管及び公印捺印書類の保管（写）、理事長印の書類（写）の保管。
- (2) 当該関係機関との連絡とそれに関する調整。
- (3) 理事・評議員会議事録の保管。
- (4) 公式書類の保管及び管理。
- (5) 職員の教育に関する研修会の申し込み。
- (6) 頂き物に関する礼状の作成郵送。
- (7) 職員の勤務状況の把握。
- (8) 物品の発注及び納入品の検品。
- (9) 販売物の金銭管理。
- (10) 利用者の預かり金（お小遣い）管理、及び年金の管理と保護者への現金出納帳、元帳の作成及び報告。
- (11) 利用者のお小遣いの用途管理及び確認。
- (12) 小口現金の管理と報告。
- (13) 介護給付費の請求及び入金の確認等。
- (14) 物品納入業者及び工事請負の見積もり及び契約に関すること。
- (15) 予算、決算に関すること。
- (16) 予算案、決算案の作成。
- (17) 財産の管理に関すること。
- (18) 台帳の管理。
- (19) 寄付金の受け入れに関すること。
- (20) 職員の人事、給与に関すること。
- (21) 規程、規則、内規等の管理に関すること。
- (22) 職員の労務管理及び福利厚生、その他、保険契約に関すること。
- (23) 補助金請求に関すること。
- (24) 本人負担金請求事務に関すること。
- (25) その他会計事務に関すること。
- (26) 行政当局、所轄消防署、警察署、土木事務所との連絡及び調整に関する業務。

- (27) 各種文書の校正及び職員の文章校正。
- (28) 事業計画、事業報告、決算、予算の遂行、管理に関すること。
- (29) 職員の人事システムに関する人材養成、研修指示書、資料、記録の管理。
- (30) EPA 外国人介護福祉士候補生の採用、滞在管理、他機関との連絡調整。

## 2. 施設管理係

作成者 中根慶太

### 運営総括

環境との調和に根ざした利用者様にとっての住みやすい環境作り・美観維持に努めた。

- (1) 日々の清掃の充実・定期清掃の充実
- (2) 不具合箇所・破損箇所の早期発見・補修整備
- (3) 施設整備の管理・備品・鍵等の管理徹底

### 事業内容

- (1) 清掃業務
  - ① 毎日清掃の職員分担化
  - ② 定期清掃の実施（美観維持の為、床のワックス清掃等）
- (2) 建物管理
  - ① 不具合報告書の職員提出の徹底
  - ② 破損箇所の補修（出来る所は自分で）
  - ③ 定期点検の年間計画作成（エレベータ・貯水槽・キュービクル等）
  - ④ しいのみ園本体の建物知識・設備知識向上に努める
- (3) 公用車管理
  - ① 鍵の管理
  - ② 車検証・自賠責保険・任意保険管理
  - ③ 車の整備管理（オイル交換・タイヤ交換等）
  - ④ 車検の管理（車検切れ等が無いように）
- (4) 新規事業立ち上げ時・増築・改修工事
  - ① 新規建物施行前・施工中・施工後の打ち合わせ・管理等
  - ② 新築・増築時、消防・市役所等との行政関連申請書類作成
- (5) 安全運転管理
  - ① 日々の安全運転管理に努める
  - ② 職員への安全運転意識向上の為の講習会の実施
  - ③ 新人職員への運転教育・管理

### 3. 医務係

作成者 吉江文子

#### 運営総括

健康管理、保持増進及び、疾病の早期発見、予防に努めることについて、当しいのみ園においては10代～70代の利用者様、又、障害も多様である。その方の特性を把握（疼痛、気分不快等の訴えがない）自覚、他覚的な症状を観知して、早期受診を実施した

又継続的に受診が必要な利用者については受診もれ等がないようチェックし実施できた。全体的には、健康診断の結果等を参考にして、今後の健康状態に影響を及ぼす可能性があると考えられる利用者に対しては、専門医に受診をして確認している。

支援スタッフや家族からの情報を得て個別的な対応を実施した。

利用者の高齢化、長期に及ぶ内服薬等による心身に及ぶ影響（例えば、歯肉増殖、歯牙欠損、皮膚状態の悪化、臓器疾患、骨粗鬆症、ADLの低下等）が顕著になっている。今後もこれらを踏まえて、予測される障害、疾患を想定して対処していく方針である。

#### 事業内容

##### （1）健康管理

- ① 障害、疾病に対して、バイタルチェック、自覚、他覚的な主訴、毎朝、職員の測定した、体温、血圧値、食欲、活気、排便等の状態を確認、受診が必要か判断。受診後は指示に従い、内服、処置等を行っている。
- ② 医務室で対処できるものは、敏速に施行して治癒に向ける。

##### （2）定期健康診断の実施

- ① 年2回実施：総合診断の結果を得て、かかりつけ医、又は、専門医に受診。
- ② 職員に対しては、異常者に対しては再受診を促している。医務室で再検査できるものは施行。

##### （3）歯科管理・腸内細菌検査

- ① ブラッシング・スケーリング・可能な範囲での齲歯の治療を実施。訪問歯科で対処できないケースは専門医を受診し根治をめざした。

##### （4）体重管理・血圧測定

- ① 1回／月の体重測定を施行して健康面のチェック：増減の幅がある方に対して栄養士・支援員と相談しカロリーの調整に向ける。
- ② 血圧測定実施：異常値に対して、かかりつけ医、嘱託医受診。

##### （5）薬管理

- ① 8割程の利用者様が内服中、又、かなり多剤の内服されており、状態により、途中変更も多い為、注意が必要となる。
- ② 今後もダブルチェックをして、配薬につとめる。配薬箱が数回入っていないことがあり、支援員より指摘を受ける。
- ③ 短期利用者の増加に伴い、内服管理が煩雑化しているので、確認を十分にしていく。

(6) 看護日誌・看護記録物の整理

- ① 看護記録と看護日誌の記入。受診記録の記入。
- ② 記録物は5年間保存。

(7) 個別看護計画・要約

- ① 個別対応看護は実施されているが、その内容が周知されていないため今後記載が必要。

(8) 保護者様との連携

- ① 医療的な面で、必要時連携をとっている。あくまでも、支援員を中心にしており、医療面で要望があればバックアップする。

## 4. 給食係

作成者 稲垣寿美子

### 運営総括

利用者の健康増進を図る栄養管理・栄養指導。利用者の健康状態と身体状態を把握し、食事形態・嗜好を考慮し、楽しい食事ができるよう心掛けた。

また、個人の活動面を考慮のうえ、生活習慣病の予防に努め、食堂や厨房内の衛生管理を徹底し、食中毒の未然防止に努めた。感染症時の食事対応で、拡大を未然に防ぐ対応に努めた。

季節を感じる行事食や手作りおやつを提供し、利用者の楽しみになる食事の提供を図った。食育教育として毎月の給食便りを発行した。

### 事業内容

- (1) 各利用者の栄養管理
  - ① 個々の食事形態の把握
  - ② 疾患に対する栄養管理
  - ③ 給食委員会との連携
  - ④ 栄養所要量の算出
- (2) 嗜好調査の実施
  - ① 対象：利用者 年1回
- (3) 体重管理
  - ① 医務係・支援係と連携
  - ② 対象：利用者
  - ③ BMIの算出・アセスメント作成
- (4) 衛生管理
  - ① 食堂の衛生管理・指導
  - ② 厨房の衛生管理・指導
- (5) 日々の観察
  - ① 支援員と連携
  - ② 咀嚼・嚥下・試行・食事マナー等
  - ③ 嗜好の変化
- (6) 書類管理
  - ① 献立一覧表・年間給食実施状況・残食量・栄養所要量・週間献立表
  - ② 食事箋・検食簿・体重表・栄養月報・食事相談記録報告書
- (7) 委託給食サービスとの連携
  - ① 食事箋の指示・献立に関する指示・衛生管理の指示
- (8) 特別食の管理
- (9) 食数の管理
- (10) 防災食の準備等への協力

## Ⅱ. 施設入所支援課

作成者 岩沼圭子

### 1. 障害者支援施設しいのみ園

#### 運営総括

前年に引き続き、平成 29 年度においても利用者様一人一人の特性やニーズに合った支援を考え、実行していくことを中心に、職員が強度行動障害者研修や福祉 QC 活動（業務改善活動）を学び、積極的に取り組みを行いながら、実際に支援に生かしていった。

福祉 QC 活動においては、全国大会に 1 チーム参加し（テーマ：かみつきをなくそう）、敢闘賞と感動賞を受賞している。関東甲信越大会に 2 チーム参加して取り組み（テーマ 1：薬『点眼・塗布薬』の処置忘れを減らそう ・ テーマ 2：事業所間の引き継ぎを円滑に行おう）を行い、毎日の業務や支援に役立てている。

また、保護者の皆様とも連携しながら行事（お花見会・じゃがいも収穫祭・バーベキュー大会・利用者旅行・夏祭り・もちつき大会・新年会等）を行い、保護者と職員が常に情報共有を行いながら互いに協力しあえる環境設定を行うことができたように思われる。

そして、八月には韓国の福祉大学（ソンヨン大学）の学生 20 名が 2 週間の実習に来られ、各事業所の見学や日本の福祉の仕組みに関する勉強を実施している。

国際厚生事業団 EPA 活動による、フィリピンから来た 4 名が介護福祉士の資格取得を目指しながら、今年度も仕事に取り組まれている。

職員の育成においては、各種研修会への参加や資格取得を奨励し、前年度に引き続き入社 2 年目まではメンター・メンティ制度を導入し、職員の質の向上を目指した。

また、利用者支援においては今年度もミュージックケアを行い、昼食時間にクラシック音楽を流すなど、利用者様の好きな音楽を生活の中に取り入れながら、利用者様の強みを生かした活動の提供や何より利用者様が楽しく元気に毎日を過ごせるよう職員一丸となって支援を行った。

### 2. 実績報告

#### (1) 施設入所支援

- ・主に夜間帯における日常生活上の包括的な支援を提供。
- ・全居室、個室にて障害特性に応じた生活環境の提供。
- ・ADL 面における総合的支援の提供。

利用月	定員	契約者数	利用延べ人数	営業日数	稼働率
4月	40名	39名	1119名	30日	93.25% (37.30人)
5月	40名	39名	1118名	31日	90.16% (36.06人)
6月	40名	39名	1130名	30日	94.17% (37.67人)
7月	40名	39名	1151名	31日	92.82% (37.13人)
8月	40名	39名	1107名	31日	89.27% (35.71人)
9月	40名	39名	1149名	30日	95.75% (38.3人)
10月	40名	39名	1190名	31日	95.97% (38.39人)
11月	40名	39名	1148名	30日	95.67% (38.27人)
12月	40名	39名	1158名	31日	93.39% (37.35人)
1月	40名	39名	1049名	31日	92.66% (37.06人)
2月	40名	38名	1046名	28日	93.39% (37.36人)
3月	40名	38名	1160名	31日	93.55% (37.42人)
合計			13525名	365日	93.33% (37.33人)

※・・・少数点第2位以下切り捨て

## (2) 生活介護

- ・ 常時支援を要する障害者に対して、日常生活上の包括的な支援を提供。
- ・ ADL 面、LADL 面における総合的支援を提供し、施設内、施設外活動の実施。

利用月	定員	契約者数	利用延べ人数	営業日数	稼働率
4月	40名	64名	938名	22日	106.59% (42.64人)
5月	40名	64名	953名	23日	103.59% (41.43人)
6月	40名	64名	919名	22日	104.43% (41.77人)
7月	40名	64名	965名	23日	104.89% (41.96人)
8月	40名	64名	935名	23日	101.63% (40.65人)
9月	40名	64名	853名	22日	108.30% (43.32人)
10月	40名	65名	995名	23日	108.15% (43.26人)
11月	40名	65名	965名	22日	109.66% (43.86人)
12月	40名	65名	1000名	23日	108.70% (43.48人)
1月	40名	65名	1030名	23日	111.96% (44.78人)
2月	40名	65名	878名	20日	109.75% (43.09人)
3月	40名	65名	1021名	23日	110.98% (44.39人)
合計			11452名	269日	107.38% (42.88人)

※・・・少数点第2位以下切り捨て

### (3) 短期入所

- ・在宅において生活が困難になった方へ短期間の受け入れ実施。
- ・介護者へのレスパイト支援の提供。
- ・必要に応じた日常生活支援の提供。

利用月	定員	契約者数	利用延べ人数	営業日数	稼働率
4月	18名	25名	494名	30日	91.48% (16.47人)
5月	18名	25名	452名	31日	81.00% (14.58人)
6月	18名	25名	483名	30日	89.44% (16.1人)
7月	18名	25名	462名	31日	82.8% (14.9人)
8月	18名	25名	483名	31日	86.74% (15.61人)
9月	18名	25名	477名	30日	88.33% (15.90人)
10月	18名	25名	478名	31日	85.66% (15.42人)
11月	18名	25名	493名	30日	91.30% (16.43人)
12月	18名	25名	493名	31日	88.35% (15.09人)
1月	18名	25名	451名	31日	80.82% (14.55人)
2月	18名	25名	439名	28日	87.10% (15.68人)
3月	18名	25名	451名	31日	80.82% (14.55人)
合計			5656名	365日	86.15% (15.44人)

※・・・少数点第2位以下切り捨て

### (4) 日中一時支援

- ・日中における介護や介護者の休息等の必要な方に対して、一時的な預かりの場を提供。
- ・必要に応じた日常生活支援の提供。

### 3. 家族会・地域との関係や情報について

年月日	行事名等	備考・参加者等
4 初旬	お花見会	各日、各事業所職員・利用者参加
5/17	ゆうあいピック	職員5名・利用者11名
5/28	ギター演奏会	職員9名・利用者30名
6/4	バーベキュー大会・保護者会総会	職員47名・利用者82名・保護者62名
6/4	たかね園バザー	職員1名・利用者1名
6/22-23	ほんだ一泊旅行	職員11名・利用者24名・保護者7名
6/27	じゃがいも収穫祭・保護者ボランティア	職員11名・利用者17名・保護者6名
7/30	中野学園バザー・保護者ボランティア	職員2名・保護者10名
8/6	夏祭り	職員64名・利用者73名・保護者46名
8/13-26	韓国実習生来日	韓国大学生20名・先生2名

8/27	花火大会	職員 64 名・利用者 73 名・実習生 20 名
8/27	千葉市 ソフトボール大会	職員 3 名・利用者 10 名
9/7-8	室内活動班一泊旅行	職員 9 名・利用者 11 名・保護者 3 名
9/15-16	千葉県 ソフトボール大会	職員 4 名・利用者 12 名
9/17	歌謡ショー（歌手ユウエン様）	職員 6 名・利用者 24 名
9/24	保護者ボランティア・役員会	保護者 10 名
10/12-13	園芸班一泊旅行	職員 7 名・利用者 8 名・保護者 4 名
10/14-15	秋季祭礼	職員 14 名
10/26-27	林産班一泊旅行	職員 9 名・利用者 8 名・保護者 7 名
11/5	ふるさと祭り	職員 12 名・利用者 10 名
11/17	こころ日帰り旅行	職員 7 名・保護者 6 名・利用者 15 名
11/26	保護者ボランティア・保護者役員会	保護者 11 名
11/27-28	福祉 QC 全国大会	職員 7 名・保護者 4 名
11/30	みやこ日帰り旅行	職員 12 名・保護者 4 名・利用者 17 名
12/1	こころ日帰り旅行	職員 7 名・保護者 2 名・利用者 12 名
12/7	室内活動班クリスマス会	職員 9 名・利用者 20 名
12/24	もちつき大会・保護者ボランティア	職員 33 名・利用者 74 名
1/7	新年会・成人式	職員 57 名・利用者 77 名・保護者 38 名
1/13	千葉市消防署出初式	職員 7 名・利用者 11 名
1/16	千葉市警察署出初式	職員 8 名・利用者 11 名
2/9	ゆうあいびっく駅伝・マラソン	職員 7 名・利用者 11 名
3/16	利用者納会	職員 23 名・利用者 41 名

#### 4. 実習・視察・ボランティア受け入れ

##### 実習受け入れ状況

年月日	学校等	実習内容
9/4-9/15	植草学園短期大学 (2名)	福祉施設実習
3/12-3/23	(2名)	福祉施設実習
5/30-6/1	京葉介護福祉専門学校 (2名)	福祉施設実習
8/1-8/3	(1名)	福祉施設実習
9/20-10/5	(2名)	福祉施設実習
1/22-2/3	明德短期大学 (1名)	福祉施設実習
3/1-3/11	千葉経済短期大学 (1名)	福祉施設実習
10/9-10/22	帝京平成大学 (1名)	福祉施設実習
2/1-2/14	(1名)	福祉施設実習
3/6-3/19	(1名)	福祉施設実習

#### 5. 苦情について 特になし

### Ⅲ 相談支援課 相談支援センターしいのみ

#### 1. 特定相談支援事業・障害児相談支援事業

作成者 高見 正

##### 運営総括

心友会の内外の相談窓口として、各関係機関と連携を図りながら、総合的なサービス提供を行った。また、相談支援専門員に対する研修に参加するなど、情報を収集するとともに、質の確保、他事業者所等と連携にも貢献した。

##### 事業内容

#### (1) 計画相談支援

##### ① 支給決定時

利用者（児）およびその保護者（成年後見人等）に面接し、心身の状況や環境、サービス利用に関する意向等を伺い、利用計画案を作成・提出した。

また、各事業責任者（担当者）と受入れ調整会議をもち、受入れ日や支援計画の調整を行った。

##### ② 支給決定後

利用者（児）およびその保護者（成年後見人等）とサービス提供事業者と面接・連絡調整を行い、必要に応じ支援計画の見直しを行った。

##### ③ サービス提供に関する状況確認

利用者（児）がサービス利用計画および個別支援計画にそった支援が提供されているか記録等を閲覧し、必要に応じて各事業所と連絡をとり、相談支援専門員の立場から支援方法等への助言・サポートを行った。

#### (2) 基本相談支援

障害を有している全ての方および家族、事業所等の相談援助を行った。必要に応じ利用者（児）およびその保護者（成年後見人等）からのニーズの聞き取りを行い、関係機関との連携を取り合った。

しいのみ園グループが展開している各事業を見学案内し、希望事業所と連絡調整・事業所の広報も兼ね、取り組んだ。

## 2. 一般相談支援事業

作成者 高見 正

### 運営総括

千葉市内を問わず、外部からの相談に積極的に対応し、主に病院や市町村からの困難ケースに対して積極的に向き合い、各関係機関と連携を図りながら、調整・対応に努めた。

### 事業内容

#### (1) 地域相談支援（地域移行支援・地域定着支援）

主に病院からの相談に対して、情報提供から、ケース検討会議の開催をするとともに積極的な受け入れができる様、事業所との連絡調整を行った。

又、緊急ケースに対しても迅速に検討会を設ける等、地域に貢献した。

## 3. 千葉市障害児等療育支援事業

作成者 高見 正

### 運営総括

千葉市に住む在宅障害児のライフステージに応じた地域での生活を支援するため、相談体制を整えた。地域の在宅障害児者及びその家族に対し、情報提供・援助・調整等を行い福祉の向上を図った。

### 事業内容

#### (1) 訪問療育相談事業

相談者の家庭を訪問し相談を行うが、取り扱ったケースはなかった。

#### (2) 訪問健康診査等事業

相談者の家庭を訪問し健康診査を行うが、取り扱ったケースはなかった。

#### (3) 外来療育相談事業

当園への来園により相談を行うが、取り扱ったケースはなかった。

#### (4) 施設支援一般指導事業

他事業所より相談を受けサービス利用に関する情報提供や相談援助を行うが、取り扱ったケースはなかった。

## IV. 地域生活支援課

### 1. 共同生活援助事業所しいのみ園ほんだ

作成者 角田多香子

#### 運営総括

地域と共に生きるを念頭に、地域との繋がりに強化していきました。

業務内容においては、5ホームの業務の標準化を目指していきました。具体的には昨年度に引き続きマニュアルの整備です。職員からの要望を吸い上げ、世話人とのコミュニケーションを大切にしていきました。

利用者支援においては、利用者様の声を聞き、利用者様に寄りそう支援をしていきました。グループホーム全国大会にも利用者様と共に初めて参加致しました。週末における余暇外出に関しては、引き続き更なる充実が必要であると考えております。

#### 事業内容

- (1) 家事等の日常生活上の支援
- (2) 健康管理、金銭管理の支援
- (3) 日常生活における相談支援
- (4) 緊急時の対応
- (5) 日中活動に関わる他事業所等の関係機関との連絡調整
- (6) 休日における余暇活動の支援
- (7) その他必要な支援等

#### 支援内容

- (1) 地域の中で、自己実現・自己決定を尊重し一人ひとりの生活スタイルに合わせ豊かな暮らしが送れるように支援を行いました。  
利用者の個々の可能性、自主性を重んじ、当事者からの聞き取り及び日々の生活の記録、他事業者との情報の共有でその人らしい生活により近づくため当事者のニーズの汲み取りに努めました。(個別支援計画)
- (2) 毎日の健康管理チェック表を活用し、日々の健康管理に努めました。観察を中心として利用者様の変化を汲み取り職員間・医療機関と連携を行いました。
- (3) 利用者様個々の課題を利用者様と個別相談を行いました。又、必要に応じ、保護者様と情報を共有し、相談しながら利用者様本人にとってより良い生活へ向けての支援を致しました。
- (4) 職員間・医療機関との連絡調整を蜜に行うことで緊急時の対応を強化しました。
- (5) 法人内外の事業所と連絡調整をすることで利用者様の情報を共有し、支援の統一に努めました。
- (6) 休日においては、入所施設と協力しボランティア行事に参加したりと余暇の提供に努めました。
- (7) 地域行事への参加としては、地域清掃・町内会お祭り、神輿・緑区のお祭りと積極的に行事への参加を行っていきました。

その他

月別利用実績

利用月	あゆみ寮 3名/6名	のぞみ寮 6名/6名	ひかり寮 5名/6名	つばさ寮 6名/7名	さくら寮 3名/5名
4月	63.89%	100.00%	80.00%	85.24%	59.33%
5月	62.37%	100.00%	78.49%	83.41%	60.00%
6月	65.00%	100.00%	80.56%	84.29%	60.00%
7月	55.91%	100.00%	80.11%	85.71%	60.00%
8月	43.55%	100.00%	78.49%	81.57%	59.35%
9月	46.11%	100.00%	78.89%	85.71%	60.00%
10月	50.54%	100.00%	79.03%	85.25%	60.00%
11月	47.22%	100.00%	78.33%	85.71%	60.00%
12月	46.24%	100.00%	76.88%	82.03%	59.35%
1月	43.01%	99.46%	77.42%	82.03%	60.00%
2月	45.24%	100.00%	79.17%	85.71%	60.00%
3月	46.77%	100.00%	78.49%	85.71%	60.00%
合計	51.32%	99.95%	78.81%	84.34%	59.84%

## 2. 多機能型事業所しいのみ園 ころ

作成者 安藤 成昭

### 運営総括

生活介護と就労支援継続支援 B 型事業のサービスを提供する多機能型事業所として運営している。誉田駅前の立地を生かし、地域に根差した事業所を目標に日々の日中活動に取り組んだ。

生活介護部門においては、利用者様の主体的な活動参加を目指し利用者のニーズに応じたカリキュラムにより活動を提供した。

就労部門においては、仕事を通して目標を達成する喜び、やりがいを持って頂ける様、リネン班、農耕班、喫茶班、製菓班の 4 部門で事業展開した。

### <生活介護部門>

#### 事業内容

- (1) 創作活動・軽作業  
季節の装飾作り、切り絵、コースター作り、学習プリント、おやつ作り
- (2) 健康維持活動  
ラジオ体操、室内ウォーキング、公園散策、洗車、ガーデニング
- (3) 地域奉仕活動  
近隣の駅、道路、公園の清掃活動
- (4) 余暇活動  
カラオケ、レク運動、DVD 鑑賞、ミュージックケア、事業所内行事
- (5) 送迎サービス  
自宅からしいのみ園ころまでの送迎を実施
- (6) ボランティアの受け入れ  
ハーモニカボランティアグループによる演奏・合唱を月に一度実施  
不定期でボランティアによるギターアンサンブルの演奏鑑賞を実施  
隔月で訪問理容を実施

#### 活動報告

創作活動・軽作業では、利用者様の意思決定に重点を置き、ニーズに合わせた活動を提供した。活動の中でも公園散策や地域清掃、ガーデニングにおいては、地域住民との挨拶を交わし、交流を深める事が出来ている。

その他にも余暇活動としてカラオケやダーツ、ボウリングを提供した。年間のイベントとして、日帰り旅行、お花見、野球観戦等を実施している。

その他

利用月	定員	契約者数	利用延べ人数	営業日数	稼働率
4月	20名	23名	431名	20日	107.75%
5月	20名	23名	466名	23日	101.30%
6月	20名	23名	456名	22日	103.64%
7月	20名	23名	439名	21日	104.52%
8月	20名	23名	472名	23日	102.61%
9月	20名	23名	428名	21日	101.90%
10月	20名	23名	449名	22日	102.05%
11月	20名	23名	451名	22日	102.50%
12月	20名	23名	432名	21日	102.86%
1月	20名	23名	386名	20日	96.50%
2月	20名	23名	399名	20日	99.75%
3月	20名	23名	448名	22日	101.82%
合計			5257名	257日	102.28%

※1・・・定員20名に対しての稼働率、少数点第2位以下切り捨て

<就労継続支援B型部門>

事業内容

- (1) リネン部門  
衣類等の洗濯、仕分け及び搬入作業
- (2) 農耕部門  
野菜栽培・店舗納品
- (3) 喫茶部門  
福祉ショップ「ふくろう屋」の営業
- (4) 製菓部門  
製菓作成

活動報告

1. リネン部門

しいのみ園契約利用者の衣類等の洗濯物を個人別に仕分け、たたみ作業と居室への配送を行っている。ルーティンワークに適性のある利用者を対象に安定的な作業プログラムとして提供できている。また、アイロンかけや雑巾作り衣類補修なども請け負っている。

## 2. 農耕部門

近隣のハウス、畑を借りて野菜栽培に取り組んでいる。約 40 種類の野菜を育て年間を通して安定した収穫量を確保している。また販売先として、主に福祉ショップ「ふくろう屋」と「ふくろう屋 2 号店」「はーとふるメッセ千葉寺店」、「なりたや誉田店」に納品している。夏季は路地栽培、冬季はハウス栽培を中心に行っている。

## 3. 喫茶部門

誉田駅徒歩 5 分の立地に福祉ショップとして、月・水・金の 10:30～15:30 まで営業している。喫茶以外に農耕部門の育てた野菜や関連事業所が作成した陶芸やビーズ製品、花などを販売している。地域に根差し、憩いの場としての空間を目指している。近隣の方のリピーターも多く、安定した売り上げが得られるようになってきている。また、冬季には「紅はるか」という品種を使った焼き芋が好評を博しており、名物となっている。

## 4. 製菓部門

月～金の週 5 日、しいのみ園グループ全利用者のおやつ約 100 食を安定的に提供することができた。また、平成 29 年 11 月よりハートケアライフ誉田のおやつ約 30 食の提供を開始した。今後の商品化も視野に入れ、取り組んでいる。

## 5. 工賃支給額

昨年度の売り上げが減少した為、8 月分工賃より昨年度工賃から時給 20 円減額し、時給 180 円（日給 900 円）を支給した。月額平均 16,000 円程度を支給できている。

### その他

利用月	定員	契約者数	利用延べ人数	営業日数	稼働率
4 月	10 名	8 名	160 名	20 日	80.00%
5 月	10 名	8 名	183 名	23 日	79.57%
6 月	10 名	8 名	173 名	22 日	78.64%
7 月	10 名	9 名	169 名	21 日	80.48%
8 月	10 名	9 名	180 名	23 日	78.26%
9 月	10 名	9 名	165 名	21 日	78.57%
10 月	10 名	10 名	180 名	22 日	81.82%
11 月	10 名	10 名	193 名	22 日	87.73%
12 月	10 名	8 名	167 名	21 日	79.52%
1 月	10 名	8 名	154 名	20 日	77.00%
2 月	10 名	8 名	158 名	20 日	79.00%
3 月	10 名	8 名	176 名	22 日	80.00%
合計			2058 名	257 日	80.08%

※1・・・定員 10 名に対しての稼働率、少数点第 2 位以下切り捨て

### 3. 生活介護事業所しいのみ園こころの都

作成者 姜兌珉

#### 運営総括

地域に住む重度・最重度の利用者を対象とし、理解しやすい活動内容とすることで、意欲的に活動へ参加出来るよう支援している。主に余暇的な活動を通して健康維持や体力向上を目指し、その上で充実感を感じることが出来る活動を提供している。また、個々のニーズを汲み取り、活動内容に取り入れていくことで、利用者主体の活動となるようサポートしている。

地域社会の一員という自覚を持ち、地域の社会資源との関わりを持って積極的な社会参加を目指している。また、地域の社会資源として、地域に根差した事業所運営を行っている。

#### 事業内容

- |           |                                                                                |
|-----------|--------------------------------------------------------------------------------|
| (1) 場 所   | 千葉市中央区都町1 1 5 7 番地 1                                                           |
| (2) 営 業 日 | 月曜日～金曜日（祭日も含む）<br>1 2 月 3 0 日～1 月 3 日 は 休 業                                    |
| (3) 営業時間  | 8 : 3 0 ~ 1 7 : 3 0                                                            |
| サービス提供時間  | 9 : 3 0 ~ 1 5 : 3 0                                                            |
| (4) 送 迎   | 自宅まで送迎サービスを行う。<br>(朝) 迎え出発 8 : 0 0 ~ 8 : 3 0<br>(夕) 送り出発 1 5 : 3 0 ~ 1 6 : 0 0 |
| (5) 対象利用者 | 千葉市内（一部市原市含む）在住で1 8 歳以上の知的障害者の方で、障害程度区分が3 以上の方（5 0 歳以上は障害程度区分が2 以上の方）          |
| (6) 定 員   | 2 0 名                                                                          |
| (7) 勤務体制  | 日勤1 8 : 0 0 ~ 1 7 : 0 0（休憩1 時間）<br>日勤2 8 : 3 0 ~ 1 7 : 3 0（休憩1 時間）             |

#### 支援内容

- (1) リフレッシュ活動：健康を維持し、更に気分転換を図る事業所外活動  
利用者様の健康面の維持を目指して公園内の散策を行い、散策を通して気持ちの切り替えや午後の活動への意欲を持つことが出来ている。
- (2) リラックス活動：個人の能力に応じた個別活動及び情緒面の安定を図る活動
  - ① ミュージックケア  
個人の好みに合わせた音楽を提供する事で情調綿の安定、また本人の能力や興味に合わせて楽器等の道具を利用して体を動かす事で楽しみのある活動を提供している。
  - ② 洗濯物たたみ、仕分け  
「仕事をする」意識付けと共に「出来る」ことを増やして行く事を目標で洗濯物干し、たたみ、仕分けを行っている。「自分の仕事」であることの意識を持って行うことが出来ている。

- ③ 音楽鑑賞、映画鑑賞  
 情調面の安定を目標に本人の好みの音楽を提供している。音楽鑑賞、映画鑑賞を行う事で自傷の軽減や楽しい毎日を過ごす事が出来ている。
- ④ 外出支援  
 外出支援を行うことで情調面の安定を目標にした上、それに満足せず地域の一員として地域社会に参加への訓練を支援している。
- ⑤ おやつ作り  
 個人の能力に合わせておやつ作りの工程を分け、皆様と力を合わせておやつを作り、またその過程を利用者様に見せる事で楽しみあるおやつ作りを提供している。
- (3) リサイクル活動
- ① 空き缶潰し  
 仕事として空き缶潰しを行い、空き缶をリサイクルセンターに販売している。毎月の売上は約 5000 円前後で 3 ヶ月一度、お弁当等での還元を行っている。まだ仕事である意識は薄く、利用者様が行った空き缶潰しでお弁当等を購入する意識も薄いですが常に声掛けを行い、仕事である事を意識付ける様に支援している。
- ② ゴミ回収 (しいのみ園グループ全事業所)

## 活動報告

### (1) 実績報告

利用月	定員	契約者数	利用延べ人数	営業日数	稼働率※1
4月	20名	18名	341名	20日	82.25%
5月	20名	18名	365名	23日	79.35%
6月	20名	18名	381名	22日	86.59%
7月	20名	18名	318名	21日	77.56%
8月	20名	18名	360名	23日	78.26%
9月	20名	18名	344名	21日	78.18%
10月	20名	18名	350名	22日	76.09%
11月	20名	18名	363名	22日	82.50%
12月	20名	18名	341名	21日	81.19%
1月	20名	18名	317名	20日	79.25%
2月	20名	18名	321名	20日	80.25%
3月	20名	18名	350名	22日	79.55%
合計			4191名	257日	81.54%

※1・・・定員20名に対しての稼働率、少数点第2位以下切り捨て

#### 4. 放課後等デイサービス事業所

しいのみ園ともみやこ

作成者 岩本 正彦

##### 運営総括

放課後等デイサービスに関する業務を行い、関係機関や保護者と連携し、利用者様の人権尊重、充実した支援を第一に考え受入れを行っている。個別支援計画に基づき、全職員が統一した支援を行っている。

集団療育を中心とした活動種を10種類程度提供している。児童が楽しめる活動や精神安定に繋がる活動を多く取り入れている。個別活動が少ないため、次年度からは新たにプログラムを組んでいく予定。

##### 事業内容

- |              |                                                                                                                                   |
|--------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (1) 場 所      | 千葉市中央区都町 1157-1                                                                                                                   |
| (2) 営 業 日    | 月曜日～土曜日（祝日含む）                                                                                                                     |
| 休 業 日        | 日曜日                                                                                                                               |
| 夏季休業         | 8月13日～8月15日                                                                                                                       |
| 冬季休業         | 12月30日～1月 3日                                                                                                                      |
| (3) 営業時間     | 平日（登校日） 10:00～19:00<br>土曜日、祝日及び休校日 8:30～19:00                                                                                     |
| (4) サービス提供時間 | 平日（登校日） 15:00～17:30<br>土曜日、祝日及び休校日 10:00～17:30                                                                                    |
| (5) 送 迎      | 自宅及び学校まで送迎サービスを実施します。<br>平日（登校日）<br>(昼) 迎え出発 13:30～15:00<br>(夕) 送り出発 17:30<br>土曜日、祝日及び休校日<br>(朝) 迎え出発 8:30～9:00<br>(夕) 送り出発 17:30 |
| (6) 対象利用者様   | 千葉市内に住む知的障害児                                                                                                                      |
| (7) 定 員      | 1日あたり10名                                                                                                                          |
| (8) 勤務体制     | 日勤1 8:30～17:30（休憩1時間）<br>日勤2 10:00～19:00（休憩1時間）                                                                                   |

##### 活動内容

- (1) 日常生活訓練（手洗い、更衣、排泄、食事等）
- (2) 集団生活適応訓練（挨拶、会話、団体活動等）
- (3) 余暇的活動（壁面作り、DVD鑑賞、公園外出、散策、プール遊び等）
- (4) 音楽療法（ミュージックケア）

## 業務内容

- (1) 個別支援計画、モニタリングの作成
  - ① 保護者や本人からのニーズを聞き取り、個別支援計画書の作成を行う。
  - ② 半期に一度モニタリングを行い、目標に対する達成具合や目標設定の妥当性、支援内容が適当であったかを検証する。
- (2) 受入れ調整
  - ① 新規利用者の契約、受入れ準備を行う。
  - ② 受入れ人数の把握、調整を行う。
- (3) 送迎サービス
  - ① 安全運転を常に意識し、自宅又は学校までの送迎を行う。
- (4) 関係機関との連絡調整
  - ① 主に学校とのタイアップを強化する。
- (5) 請求業務（利用者上限管理を含む）
  - ① 事務職員、他事業所との連携を図り、正確な請求を行う。

## 実績報告

### (1) 利用者状況（稼働率）

利用月	定員	契約者数	利用延べ人数	営業日数	稼働率
4月	10名/日	16名	155名	25日	62.00%
5月	10名/日	16名	144名	27日	53.33%
6月	10名/日	16名	160名	26日	61.54%
7月	10名/日	16名	155名	26日	59.62%
8月	10名/日	16名	161名	25日	64.40%
9月	10名/日	16名	167名	26日	64.23%
10月	10名/日	16名	164名	26日	63.08%
11月	10名/日	16名	172名	26日	66.15%
12月	10名/日	16名	166名	25日	66.40%
1月	10名/日	17名	143名	24日	59.58%
2月	10名/日	17名	156名	24日	65.00%
3月	10名/日	17名	183名	27日	67.78%
合計			1926名	307日	62.74%

※小数点第2位以下切り捨て

### (2) 利用者状況（年齢／性別）

	低学年	高学年	中学生	高校生	総計人数
男性			3	13	16
女性				1	1
総数			3	14	17

## (3) 苦情について

年月日	苦情申出者	苦情の種類	原因	内容	対応
H29 5/5	近隣住民	口頭	4	外出先にて利用児童が近くにいた幼児の髪の毛を引っ張っている。同行していた保護者よりその場で苦情があり、謝罪している。	当該保護者には謝罪の上、法人連絡先を渡している。千葉市役所に報告を行っている。
H29 7/13	近隣住民	電話	4	当園駐車場にて走っている児童の足音がうるさい、との連絡がある。	千葉市役所に報告を行っている。当該住民宅に謝罪に伺っている。

※発生原因・・・ 1、説明不足 2、職員の態度・言動 3、サービス内容 4、その他

## (4) 研修関係

年月日	研修名	主催	場所	参加者
6/6	救急法基礎講習	千葉市社会福祉協議会	ハーモニープラザ	茅原
6/26	千葉県強度行動障害支援者養成基礎研修	千葉県	千葉市文化センター	長谷川
7/13	放課後等デイサービスにおける発達障害のある子どもの理解と支援の実際	植草学園大学	植草学園大学	長谷川 茅原
9/27～ 9/29	全国知的障害福祉関係職員研究大会（愛知大会）	日本知的障害福祉協会	名古屋国際会議場	長谷川
10/4、 16、18	千葉県相談支援従事者現任研修	千葉県	千葉県教育会館	岩本
11/29	災害時要配慮者支援セミナー	千葉県社会福祉協議会	千葉市文化センター	中根
10/31	障害者虐待防止・権利擁護研修	千葉県	千葉商工会議所	岩本
11/10	防災実務研修	千葉市防災普及公社	千葉市消防総合センター	中根 岩本
12/8	三重県いなば園研修会	三重県いなば園	津市美里文化センター	長谷川 茅原

(5) 事故報告・ヒヤリハット

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ヒヤリ	0	1	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0
事故	1	1	1	0	1	1	1	1	0	0	0	0

【内容】児童が他児童をひっかき、その他児童が殴り返している。

【対策】両者の接触に注意し、距離を置くように対応する。

【内容】外出時に児童が通りすがりの幼児の髪を引っ張ってしまう。

【対策】千葉市報告。外出先の選定や行動特性などマニュアルから見直し、周知徹底を図る。

【内容】児童が靴を間違えて帰ってしまった。

【対策】靴に名前付きのクリップを挟み、間違えないようにした。

【内容】児童のジャンパーを誤って他の児童の荷物に入れてしまった。

【対策】ロッカーに名前付きの写真を貼り付け、職員・児童とも荷物を入れ間違えないよう視覚的にわかりやすくした。

【内容】職員が送迎に向かう学校の順番を間違えそうになった。

【対策】通常とは違う順番だったため間違えそうになった。出発前の打ち合わせでの確認徹底。

【内容】児童が送迎先で職員が保護者対応をしている間に運転席から飛び出してしまった。

【対策】運転席の施錠の徹底。保護者対応中も常に車内の児童を把握できる位置にいること。また暗い時は車内灯を付けて確認しやすいようにする。

**運営総括**

放課後等デイサービスに関する業務を行い、関係機関や保護者と連携し、利用者様の人権尊重、充実した支援を第一に考え受入れを行っている。個別支援計画に基づき、全職員が統一した支援を行っている。

**事業内容**

- |              |                                                                                                                                   |
|--------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (1) 場 所      | 千葉県緑区高田町 1953 番地 1                                                                                                                |
| (2) 営 業 日    | 月曜日～土曜日（祝日含む）                                                                                                                     |
| 休 業 日        | 日曜日                                                                                                                               |
| 夏季休業         | 8月13日～8月15日                                                                                                                       |
| 冬季休業         | 12月30日～1月 3日                                                                                                                      |
| (3) 営業時間     | 平日（登校日） 10：00～19：00<br>土曜日、祝日及び休校日 8：30～19：00                                                                                     |
| (4) サービス提供時間 | 平日（登校日） 15：00～17：30<br>土曜日、祝日及び休校日 10：00～17：30                                                                                    |
| (5) 送 迎      | 自宅及び学校まで送迎サービスを実施します。<br>平日（登校日）<br>(昼) 迎え出発 13：30～14：30<br>(夕) 送り出発 17：30<br>土曜日、祝日及び休校日<br>(朝) 迎え出発 8：30～9：00<br>(夕) 送り出発 17：30 |
| (6) 対象利用者様   | 千葉市内に住む知的障害児                                                                                                                      |
| (7) 定 員      | 1日あたり10名                                                                                                                          |
| (8) 勤務体制     | 日勤1 8：30～17：30（休憩1時間）<br>日勤2 10：00～19：00（休憩1時間）                                                                                   |

**活動内容**

- (1) 日常生活訓練（手洗い、更衣、排泄、食事等）
- (2) 集団生活適応訓練（挨拶、会話、団体活動等）
- (3) 余暇的活動（壁面作り、体力作り活動、ダンス活動、遠足外出、卒業外出、プール遊び、太鼓活動、昼食外出等）
- (4) 療育的活動（昼食購入体験、野菜栽培体験、餅つき体験、縁日体験、作って遊ぼう、スイカ割り体験、流しそうめん体験、昼食作り活動、おやつ作り活動等）
- (5) ミュージックケア
- (6) その他（スノーズレン、笑いヨガ等）

## 業務内容

- (1) 個別支援計画、モニタリングの作成
  - ① 保護者や本人からのニーズを聞き取り、個別支援計画書の作成を行う。
  - ② 半期に一度モニタリングを行い、目標に対する達成具合や目標設定の妥当性、支援内容が適当であったかを検証する。
- (2) 受入れ調整
  - ① 新規利用者の契約、受入れ準備を行う。
  - ② 受入れ人数の把握、調整を行う。
- (3) 送迎サービス
  - ① 安全運転を常に意識し、自宅又は学校までの送迎を行う。
  - ② 関係機関との連絡調整
  - ③ 主に学校とのタイアップを強化する。
- (4) 請求業務（利用者上限管理を含む）
  - ① 事務職員、他事業所との連携を図り、正確な請求を行う。

## 実績報告

### (1) 利用者状況（稼働率）

利用月	定員	契約者数	利用延べ人数	営業日数	稼働率
4月	10名/日	16名	161名	25日	64.40%
5月	10名/日	16名	159名	27日	58.89%
6月	10名/日	16名	166名	26日	63.85%
7月	10名/日	16名	162名	26日	62.31%
8月	10名/日	16名	160名	25日	64.00%
9月	10名/日	16名	157名	26日	60.38%
10月	10名/日	16名	138名	26日	53.08%
11月	10名/日	16名	158名	26日	60.77%
12月	10名/日	16名	147名	25日	58.80%
1月	10名/日	16名	124名	24日	51.67%
2月	10名/日	16名	131名	24日	54.58%
3月	10名/日	16名	157名	27日	58.15%
合計			1820名	307日	59.28%

※小数点第2位以下切り捨て

### (2) 利用者状況（年齢／性別）

	低学年	高学年	中学生	高校生	総計人数
男性	1	1	2	3	7
女性	3	0	5	1	9
総数	4	1	7	4	16

## (3) 苦情について

年月日	苦情申出者	苦情の種類	原因	内容	対応
H29 10/14	運転者	電話	4	送迎車が利用者に乗せた状態で危ない運転をしていたとのクレーム電話が外部からあった。確認したところ児童の学校送迎後、しいのみ園に帰園する際である事が判明した。	電話の相手に謝罪し、内部研修を行っている。また、第3者委員より電話があった為、現状を説明し、相手の方にも伝えている。運転していた当事者1人で必ず同乗者を配置し、送迎を行っている。

※発生原因・・・1、説明不足 2、職員の態度・言動 3、サービス内容 4、その他

## (4) 研修関係

年月日	研修名	主催	場所	参加者
5/23	新任管理職研修	千葉県職業能力開発協会	ちば仕事プラザ	岩沼 尹
7/13	発達障害のある子どもの理解と支援の実際	植草学園大学・短期大学	植草学園短期大学 大講義室	橋本
7/13, 14	第8回全国職員研修会	全国児童発達支援協議会	広島国際会議場 アステールプラザ	中根 尹
7/29～31	ミュージックケア全国セミナー	NPO 法人日本ミュージックケア協会	朱鷺メッセ	岩沼 尹
9/26	支援スタッフ部会千葉ブロック見学会のご案内	社会福祉法人九曜会たかね園	千葉市立養護学校	橋本
9/30	千葉県 TEACCH プログラム 学齢期の支援：教育現場での視覚支援の取り組み	千葉県 TEACCH プログラム研究会	ちば商工会議所 第1ホール	尹
10/30, 31	初級リスクマネジャー養成講座 2017	先刻「社会福祉法人経営者協議会	TIME24 ビル	尹
11/20, 21	福祉職員キャリアパス対応生涯研修（チームリーダー編）	千葉市社会福祉研修センター	千葉市ハーモニー プラザ	尹
11/30	障害者虐待防止・権利擁護研修（障害者虐待防止めねージャー）	千葉県健康福祉部障害福祉事業課	千葉県教育会館	尹
12/4, 5	初級リスクマネジャー養成	社会福祉法人経	TIME24 ビル	尹

	講座 2017	営者協議会		
12/12	放課後等デイサービスの競争に勝ち残る経営者セミナー	株式会社すららネット	株式会社すららネット	尹
2/5～7	平成 29 年度職場研修担当者研修会施設職員コース	全国社会福祉協議会	中央福祉学院 ロフォス	尹

(5) 事故報告・ヒヤリハット

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ヒヤリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事故	1	0	3	1	1	2	1	0	1	0	1	1

【内容】自宅送迎後、大雨の中、しいのみ園駐車場で駐車する際バックランプを自動販売機にぶつけ左のバックランプが損傷してしまった。

【対策】駐車時、バック時見づらい場合は同乗者が車の外で確認し、誘導する。

【内容】忘れ物が多く発生してしまった。

【対策】チェック表を作成し、当日の持ち物を必ず確認する。また、自宅では保護者様と一緒に荷物などを渡しながら確認する。

【内容】送迎表の確認漏れによる学校送迎に遅れてしまった。

【対策】13時の引き継ぎの際、学校送迎の時間と送迎車も確認する。

【内容】引き継ぎ漏れによる自宅送迎ミスが起きてしまった。

【対策】ともたかだ用の引き継ぎ表を作成し、保護者や外部・内部からの引き継ぎ内容は全て引き継ぎ表に記入し、毎日職員が退勤時に確認を行う。

【内容】学校送迎が間違っており、K様が帰宅してしまった。

【対策】学校・保護者との連携の為、利用日や下校時間をカレンダーに記入し、情報共有を行う。また、送迎表作成時、下校時間カレンダーに作成者・確認者の確認日と氏名を記入し、必ず2重確認を行う。

【内容】M様が上履きで帰宅してしまった。

【対策】各送迎担当者が児童が靴を履き替えているかを確認する。また、17時30分退勤職員が児童の靴を整理する際、利用児童が靴を履き替えたかを確認してから送迎を開始する。

(6) 目標・結果・理由

- ・目標：保護者面談を年に2回実施する。
- ・取り組みと結果：前期と後期の2回に分けて保護者アンケートを実施し、前期は全員面談実施。後期は面談を希望された方（10名）を対象に面談を実施している。面談結果、保護者様からも良いとの話を頂いている為、継続して実施する。
- ・改善点：今後は面談だけではなく、保護者様が事業所内の見学やともたかだの行事に参加できる機会を設定し、気軽に意見交換や交流が図れる環境作りを行う。

## 5. 福祉のまちづくり支援室

作成者 福谷 章子

### 運営総括

社会福祉法人制度改革により、制度のはざまで取り残されている人たちへの支援の場を提供することを目的に平成28年2月にモデル開設し、4月から本格的な運営を始めた。

1階に、地域の方々の交流休憩スペースと就労作品の販売場所としてふくろうカフェを、2階に日常生活で困難を感じている方々への様々な相談や支援の場としてふくろう広場を設置した。

ふくろうカフェは利用者数が増え、地域の認知が高まった。しいのみ園こころの利用者さんの休憩場所となったり、近隣の介護施設の入所者の利用が増えている。ふくろう広場では、発達が心配な子どもを持つ保護者の方々の話し合いから連続講座を開催した。環境への適応やコミュニケーションに課題のある子どもたちの居場所が求められていたことから、長期休業中にイベント的な否所開催を行った。

定期的な相談事業も行い、カフェの来訪者を相談へとつなぐ事例もあった。

陶芸教室、手芸教室、地域団体への貸し出しも行い、した。も定期的に行き、特に陶芸教室は長期休業期間に子ども対象の講座も開催し、好評であった。

### 事業内容

- |              |                                                                                                                                       |
|--------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (1) 場 所      | 千葉県緑区誉田町2-7-12 茂木ビル1～2階                                                                                                               |
| (2) 営業日      | ふくろうカフェ 月曜日～金曜日<br>ふくろう広場 月曜日～金曜日                                                                                                     |
| 休業日          | 土曜日 日曜日                                                                                                                               |
| 夏季休業         | 8月13日～8月15日                                                                                                                           |
| 冬季休業         | 12月30日～1月 3日                                                                                                                          |
| (3) 営業時間     | ふくろうカフェ 10:00～15:30<br>ふくろう広場 随時                                                                                                      |
| (4) 勤務体制     | パートタイムによるシフト制                                                                                                                         |
| (5) 取り組み事業項目 | <ul style="list-style-type: none"><li>・子育て支援事業</li><li>・障害者福祉に関する総合的相談事業</li><li>・学習支援事業</li><li>・多世代の居場所事業</li><li>・情報発信事業</li></ul> |

## 活動内容

- 1) 7月から開設時間を午後2時から3時30分に延長
- 2) 1年目に継続したはぴママお茶会（子どもの発達に心配があるなど、子育てに不安を感じている保護者の話し合いの場）から出された課題を解決するための一歩として、連続子育て講座を

開催した。

- 3) 集団生活の中で受け入れられない、集団に馴染めない子どもたちも無理なく参加できる子どもたちのための企画を、夏休みと冬休みに開催した。

- 4) 2周年ぽかぽか祭りを2018年2月に開催した。

- 5) 地域との関わりについて

・個人やグループなど様々な形で毎日のように利用される方々が増えている。近隣の高齢者施設からくつろぎに来られる方々も多い。その一方で、電車待ちにふらりと利用される方もいる。

・お正月の書を4点貸していただき、ふくろうカフェの正月飾りとして活用させていただいた。

・カフェ利用者の方々の作品展示のコーナーを設置した。

・近隣の高齢者の今後について、あんしんケアセンターとご家族との話し合いの場に参加した。

- 6) 他機関との連携について

・オレンジカフェのボランティアとケアマネージャー対象に、ふくろうカフェについて説明した。

・近隣小学校の特別支援学級児童の訪問を受けた（昨年に引き続き）

- 7) スタッフが全員パートのため、情報共有を図るために日々の日誌への記録を心がけ、毎月1度のスタッフミーティングを開催した。

- 8) カフェへの来訪から相談へとつながる事例が増えた。特に就労関係や、メンタル面での相談が多い。

## 業務内容

- (1) マネージメント

事業ごとの報告書の作成。スタッフ同士の情報共有を図るためのスタッフミーティングの開催。

1号店との連携。シフト表の作成。事業の企画と実施。

- (2) カフェの運営

室内の環境整備と呈茶の準備。傾聴に心がけた接客と地域へしいのみ園の情報発信。図書の管理。

- (3) ふくろう広場の運営

はぴママお茶会、言の葉の会、地域活動への協力、陶芸教室や手芸教室の支援、地域からの相談

- (4) 販売

野菜、手作り小物の販売

## その他

### 実績

#### (1) ふくろうカフェ

2016年	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	累計
開室日数	8	10	22	19	20	20	20	20	19	19	20	22	219
利用者数	51	53	135	101	76	126	134	134	88	125	147	191	1361
2017年	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
開室日数	20	19	22	20	20	20	20	20	21	19	18	21	240
利用者数	202	222	292	377	328	277	323	348	394	348	337	383	3831

#### (2) はぴママお茶会

### 連続子育て講座

テーマ1 「どんな子ども安心して過ごせる場を作ろう」 5月14日

講師 スペース海 新田恒夫さん

テーマ2 「不登校の子どもたちへの対応について」 6月11日

講師 スペース海 新田恒夫さん

テーマ3 「発達に心配を感じる子どもへの対応について」 7月9日

講師 スペース海 新田恒夫さん

テーマ4 「HSC：特別な感性を持つ子どもたちのことを理解しよう」 10月15日

講師 フリースクールペガサス 杉本景子さん

### 特別企画

#### 夏休み特別企画

カレーの日 子ども陶芸教室に合わせてお昼にカレーラスを販売 8月4日

#### 冬休み特別企画

子どもたちとリズム遊び ジャンベ（アフリカの太鼓）をたたいてみよう 12月27日

講師 BBモフランさん

## V. しいのみ園グループ委員会

### 1. 防災管理委員会

作成者 高山 嶺

#### 運営総括

地震、火事を想定した避難訓練を行い災害時にスムーズに避難できるよう訓練を行っている。消火訓練では実際に水消火器や簡易消火栓を作動する訓練も実施した。また、災害時の備えとして防災備品や非常食を各事業所に配置し、管理を行っている。

#### 事業内容

しいのみ園グループ職員の防災意識の向上・技術の習得（積極的な外部研修への参加）・防災備品の管理・非常食の管理、消防計画の作成、見直しを行い非常災害時に備える。

#### 防災物品の備品状況

購入備品名	個数	有効期限	保管場所
発電機	2	-	しいのみ園防災倉庫
タープ	2	-	しいのみ園防災倉庫
防災食		33年12月	全事業所に1日3食3日分 200人分 ※
懐中電灯	20		しいのみ 10 ころ 3 ほんだ 5 都 2
非常用下水	不明		4ヶ所が多数
拡声器	2		しいのみ園事務所
救急箱 工具セット	各4		しいのみ園防災倉庫 2 しいのみ園ころ 1 しいのみ園ころの都 1
ヘルメット	46		しいのみ園事務所 14 しいのみ 1F 支援員室 10 しいのみ 2F 支援員室 10 しいのみ園ころ 5 しいのみ園ころの都 7
防災頭巾	74		しいのみ 1F 支援員室 25 しいのみ 2F 支援員室 25 しいのみ園あゆみ 6 しいのみ園のぞみ 6 しいのみ園ひかり 6 しいのみ園つばさ 6 しいのみ園さくら 6

※防災食については給食委員会で管理

活動報告

(1) 消防、消防訓練、防災教育等の実施状況（しいのみ園）

実施日	訓練名	訓練内容
6/24	救急救命講習	<p>目的 : AED を用いた心肺蘇生法、異物除去の救命処置と止血法を学ぶ。</p> <p>時間 : 13:00～16:00</p> <p>内容 : マネキン、AED を使いながら胸骨圧迫、人工呼吸を実践。救命措置、止血法の訓練。</p>
9/11	消化訓練	<p>目的 : 水消火器を使用し、消火器、消火栓の使用方法を学ぶ。</p> <p>時間 : 10:00～10:30</p> <p>内容 : マルキ防災を呼び消火器、消火栓の使用方法を見守りのもと訓練。</p> <p>参加者: 職員 10 名 合計 10 名</p>
10/25	夜間想定避難訓練	<p>目的 : 夜間災害を想定し、少ない職員数で対応できるよう訓練する。</p> <p>時間 : 10:00～11:00</p> <p>内容 : 少人数で避難誘導実施。</p> <p>参加者: 利用者 40 名 職員 3 名 合計 43 名</p>
11/10	防災実務研修	<p>目的 : 災害時の器具の取り扱い方法を学ぶ。</p> <p>時間 : 09:00～12:00</p> <p>内容 : 消火器や屋内消火栓、消防署への通報方法、担架の使用方法を訓練。</p> <p>参加者: 職員 25 名 合計 25 名</p>
11/15	総合防災訓練	<p>目的 : 日中の災害を想定し、訓練する。</p> <p>時間 : 10:00～10:30</p> <p>参加者: 利用者 50 名 職員 20 名 合計 70 名</p>
3/10	総合防災訓練	<p>目的 : 火災に対して避難誘導技術の習得を図る。</p> <p>時間 : 9:30～10:00</p> <p>参加者: 利用者 50 名 職員 20 名 合計 70 名</p>
3/29	夜間総合防災訓練	<p>目的 : 夜間災害を想定し、少ない職員数で対応できるよう訓練する。</p> <p>時間 : 09:00～09:30</p> <p>内容 : 少人数で避難誘導実施。</p> <p>参加者: 利用者 40 名 職員 3 名 合計 43 名</p>

(2) 消防、消防訓練、防災教育等の実施状況（しいのみ園こころ）

実施日	訓練名	訓練内容
2/22	地震想定訓練	目的 : 地震発生時の避難誘導技術の習得を図る 時間 : 10:30~11:00 参加者 : 利用者 20 名 職員 5 名 合計 25 名
3/21	総合防災訓練	目的 : 地震・火災に対して避難誘導技術の習得を図る。 時間 : 10:30~11:00 参加者 : 利用者 20 名 職員 6 名 合計 26 名

(3) 消防、消防訓練、防災教育等の実施状況（しいのみ園ほんだ）

実施日	訓練名	訓練内容
10/14	総合防災訓練 (あゆみ寮・のぞみ寮・ ひかり寮)	目的 : 火災に対して避難誘導技術の習得を図る。 時間 : 9:30~10:00 参加者 : 利用者 18 名 職員 5 名 合計 23 名

(4) 消防、消防訓練、防災教育等の実施状況（しいのみ園こころの都）

実施日	訓練名	訓練内容
8/2	総合防災訓練	目的 : 地震・火災に対して避難誘導・散水技術の習得を図る。 時間 : 10:30~11:00 参加者 : 利用者 25 名 職員 10 名 合計 35 名
3/16	総合防災訓練	目的 : 地震に対して避難誘導技術の習得を図る。 時間 : 10:30~11:00 参加者 : 利用者 19 名 職員 10 名 合計 40 名

## 2. 給食委員会

作成者 大貫 純平

### 運営総括

利用者一人ひとりに対して、適切な食事形態での提供ができているのか確認し、月に1回検討し、改善していった。また、年間目標や月間目標を設定し、食事に対する意識向上や衛生管理、感染症予防等の啓発活動や現場指導を行っている。昨年度の検討事項であった殺虫器については捕虫器を購入し設置している。

また、給食係の実施した嗜好調査をもとにセレクト食を実施している。

### 事業内容

- (1) 食事形態の確認、見直し  
利用者様の食事形態についての検討会を実施し、必要に応じて変更していった。
- (2) 食事環境の確認、見直し  
捕虫器を購入、設置を行った。
- (3) 趣向調査、セレクト食・行事食の導入  
毎月のセレクト食の中に法人全体でのセレクト食を取り入れた。
- (4) 健康チェック  
看護師、栄養士と連携し、それぞれの健康状態に適した、安心安全な食事提供を行った。

### 活動報告

- (1) 捕虫器の購入・設置
- (2) 年間目標・月間目標の設定および目標に対しての啓発運動、対応改善
- (3) セレクト食の実施
  - ・ 6月…ハンバーガー（コロッケ or 照り焼きチキン）
  - ・ 7月…ハンバーグ（デミグラスソース or おろしポン酢）
  - ・ 9月…魚料理（サバの味噌煮 or サバの竜田揚げ）
  - ・ 10月…おにぎり（おかか or 鮭 or 青菜）
  - ・ 11月…スープ（ミネストローネ or コーンスープ）
  - ・ 2月…巻き寿司（助六・サラダ・マグロ）
- (4) 食事形態の検討会（毎月）

### 3. 衛生委員会

作成者 尹 スルギ

#### 運営総括

事業所の労働安全衛生を考え4月～3月までテーマを決めて2ヵ月1回委員会を開催し、話し合いを行った。室内温度の管理等での改善のため、各事業所で定期的に温度チェックを行い、適切な労働環境の構築を行ってきた。また、ストレスの少ない職場づくりを行う為のアンケート実施や職場環境の向上に向けて危険個所の調査を行うなど環境改善に取り組んできた。

#### 事業内容

- (1) 職場環境（労働安全衛生）の向上
- (2) 職場の健康管理
- (3) 安全運転の推進
- (4) 職員のメンタルヘルスケア

#### 活動報告

- 5月・・・5月病対策について
- 7月・・・夏バテ防止について
- 9月・・・事業所内危険カ所パトロール
- 11月・・・ノロウイルスについて
- 1月・・・メンタルヘルスケア
- 2月・・・来年度テーマ選定

# VI. 決算報告

## 1、貸借対照表

法人名 社会福祉法人 心友会

Page: 1

### 法人単位貸借対照表

平成30年 3月31日現在

第三号第一様式（第二十七条第四項関係）

(単位:円)

資 産 の 部				負 債 の 部			
	当年度末	前年度末	増 減		当年度末	前年度末	増 減
<b>流動資産</b>	<b>479,170,606</b>	<b>278,275,153</b>	<b>200,895,354</b>	<b>流動負債</b>	<b>185,401,939</b>	<b>54,292,450</b>	<b>131,109,489</b>
現金預金	333,198,353	160,988,690	172,209,663	事業未払金	53,027,310	32,115,048	20,912,262
事業未収金	100,365,849	97,450,004	2,915,845	1年以内返済予定設備資金借入金	5,840,000	5,840,000	
未収金	37,517,289	17,153,694	20,363,595	1年以内返済予定長期運営資金借入金	2,032,000	1,992,000	40,000
未収補助金	1,267,292	2,031,856	-664,564	1年以内支払予定長期未払金	341,460	341,460	
立替金	25,380	618,866	-593,486	預り金	159,680	95,556	64,124
仮払金	6,696,343	32,042	6,664,301	職員預り金	11,145,581	3,903,994	7,241,587
<b>固定資産</b>	<b>709,226,551</b>	<b>776,579,689</b>	<b>-67,353,138</b>	前受金	95,872,087		95,872,087
<b>基本財産</b>	<b>319,289,982</b>	<b>330,742,857</b>	<b>-11,452,875</b>	仮受金	6,983,821	4,392	6,979,429
土地	22,038,000	22,038,000		賞与引当金	10,000,000	10,000,000	
建物	297,251,982	308,704,857	-11,452,875	<b>固定負債</b>	<b>31,781,144</b>	<b>38,747,479</b>	<b>-6,966,335</b>
<b>その他の固定資産</b>	<b>389,936,569</b>	<b>445,836,832</b>	<b>-55,900,263</b>	設備資金借入金	23,360,000	29,200,000	-5,840,000
土地	34,559,616	29,987,716	4,571,900	長期運営資金借入金		2,032,000	-2,032,000
建物	44,763,317	85,073,085	-40,309,768	退職給付引当金	7,368,375	6,121,250	1,247,125
建物付属設備	115,339,437	134,375,388	-19,035,951	長期未払金	1,052,769	1,394,229	-341,460
構築物	25,921,902	22,427,616	3,494,286	<b>負債の部合計</b>	<b>217,183,083</b>	<b>93,039,929</b>	<b>124,143,154</b>
機械及び装置	152,280	255,067	-102,787	<b>純 資 産 の 部</b>			
車両運搬具	14,171,833	15,292,272	-1,120,439	基本金	22,038,000	22,038,000	
器具及び備品	13,402,294	17,211,753	-3,809,459	基本金	22,038,000	22,038,000	
ソフトウェア	152,600	553,400	-400,800	国庫補助金等特別積立金	293,292,659	302,955,277	-9,662,618
退職給付引当資産	7,214,625	6,121,250	1,093,375	国庫補助金等特別積立金	293,292,659	302,955,277	-9,662,618
施設整備積立資産	82,498,885	82,498,885		その他の積立金	134,198,885	134,198,885	
修繕積立資産	51,700,000	51,700,000		施設整備積立金	82,498,885	82,498,885	
差入保証金	35,400	340,400	-305,000	修繕積立金	51,700,000	51,700,000	
リサイクル預託金	24,380		24,380	次期繰越活動増減差額	521,684,430	502,622,750	19,061,680
				次期繰越活動増減差額	521,684,430	502,622,750	19,061,680
				(うち当期活動増減差額)	19,061,680	68,011,753	-48,950,073
<b>資産の部合計</b>	<b>1,188,397,057</b>	<b>1,054,854,841</b>	<b>133,542,216</b>	<b>純資産の部合計</b>	<b>971,213,974</b>	<b>961,814,912</b>	<b>9,399,062</b>
				<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>1,188,397,057</b>	<b>1,054,854,841</b>	<b>133,542,216</b>

脚注

1. 減価償却費の累計額
2. 繰取不能引当金の額

## 2、事業活動計算書

法人名 社会福祉法人 心友会

Page: 1

### 法人単位事業活動計算書

(自) 平成29年 4月 1日 (至) 平成30年 3月31日

第二号第一様式(第二十三条第四項関係)

(単位:円)

勘定科目		当年度決算	前年度決算	増減	
サービス活動増減の部	収	就労支援事業収益	7,740,374	7,696,091	44,283
		障害福祉サービス等事業収益	616,134,911	623,506,673	-7,371,762
		生産活動収益	1,071,479	490,828	580,651
		その他の収益	9,540	13,760	-4,220
		経常経費寄附金収益	40,000	10,000	30,000
		サービス活動収益計(1)	624,996,304	631,717,352	-6,721,048
	費	人件費	406,618,032	374,335,641	32,282,391
		事業費	67,417,602	63,734,388	3,683,214
		事務費	95,690,490	93,120,394	2,570,096
		就労支援事業費用	8,367,280	7,915,197	452,083
用	減価償却費	48,801,966	50,187,434	-1,385,468	
	国庫補助金等特別積立金取崩額	-20,895,618	-22,306,955	1,411,337	
	サービス活動費用計(2)	605,999,752	566,986,099	39,013,653	
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	18,996,552	64,731,253	-45,734,701	
サービス活動外増減の部	収	借入金利息補助金収益	289,080	337,260	-48,180
		受取利息配当金収益	9,525	16,466	-6,941
		その他のサービス活動外収益	7,078,884	6,230,560	848,324
		サービス活動外収益計(4)	7,377,489	6,584,286	793,203
	費	支払利息	419,570	506,153	-86,583
		その他のサービス活動外費用	5,953,474	5,861,304	92,170
	サービス活動外費用計(5)	6,373,044	6,367,457	5,587	
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	1,004,445	216,829	787,616	
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	20,000,997	64,948,082	-44,947,085	
特別増減の部	収	施設整備等補助金収益	6,105,000	4,380,000	1,725,000
		固定資産売却益	20,330	390,834	-370,504
		その他の特別収益	53,615,913		53,615,913
		特別収益計(8)	59,741,243	4,770,834	54,970,409
	費	固定資産売却損・処分損	41,783,327	370,963	41,412,364
		国庫補助金等特別積立金積立額	11,233,000	930,000	10,303,000
	その他の特別損失	7,102,133		7,102,133	
	特別費用計(9)	60,118,460	1,300,963	58,817,497	
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	-377,217	3,469,871	-3,847,088	
	税引前当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	19,623,780	68,417,953	-48,794,173	
	法人税、住民税及び事業税(12)	562,100	406,200	155,900	
	法人税等調整額(13)				
	当期活動増減差額(14)=(11)-(12)-(13)	19,061,680	68,011,753	-48,950,073	
繰越活動増減差額の部		前期繰越活動増減差額(15)	502,622,750	434,610,997	68,011,753
		当期末繰越活動増減差額(16)=(14)+(15)	521,684,430	502,622,750	19,061,680
		基本金取崩額(17)			
		その他の積立金取崩額(18)		50,000,000	-50,000,000
		その他の積立金積立額(19)		50,000,000	-50,000,000
	次期繰越活動増減差額(20)=(16)+(17)+(18)-(19)	521,684,430	502,622,750	19,061,680	

### 3、資金収支計算書

法人名 社会福祉法人 心友会

Page: 1

#### 法人単位資金収支計算書

(自) 平成29年 4月 1日 (至) 平成30年 3月31日

第一号第一様式 (第十七条第四項関係)

(単位: 円)

勘定科目		予算	決算	差異	
事業活動による収支	収	就労支援事業収入	7,520,000	7,740,374	220,374
		障害福祉サービス等事業収入	623,133,000	616,134,911	-6,998,089
		生産活動収入	1,348,000	1,071,479	-276,521
		その他の収入	14,000	9,540	-4,460
		借入金利息補助金収入	289,000	289,080	80
	入	経常経費寄附金収入	40,000	40,000	
		受取利息配当金収入	18,000	9,525	-8,475
		その他の収入	6,612,000	6,677,384	65,384
		事業活動収入計(1)	638,974,000	631,972,293	-7,001,707
		支	人件費支出	407,303,000	404,326,282
事業費支出	65,381,000		67,417,602	-2,036,602	
事務費支出	97,093,000		95,690,490	1,402,510	
就労支援事業支出	8,250,000		7,597,937	652,063	
支払利息支出	423,000		419,570	3,430	
その他の支出	6,016,000		5,953,474	62,526	
法人税、住民税及び事業税支出	563,000		562,100	900	
事業活動支出計(2)	585,029,000	581,967,455	3,061,545		
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		53,945,000	50,004,838	-3,940,162	
施設整備等による収支	収	施設整備等補助金収入	6,105,000	6,105,000	
		固定資産売却収入	21,000	20,330	-670
		その他の施設整備等による収入	325,000	325,000	
	施設整備等収入計(4)	6,451,000	6,450,330	-670	
	支	設備資金借入金元金償還支出	5,840,000	5,840,000	
固定資産取得支出		23,051,000	23,188,743	-137,743	
その他の施設整備等による支出	45,000	44,380	620		
施設整備等支出計(5)	28,936,000	29,073,123	-137,123		
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		-22,485,000	-22,622,793	-137,793	
その他の活動による収支	収	その他の活動による収入	107,816,000	53,615,913	-54,200,087
		その他の活動収入計(7)	107,816,000	53,615,913	-54,200,087
	支	長期運営資金借入金元金償還支出	1,992,000	1,992,000	
		積立資産支出	1,905,000	1,736,500	168,500
その他の活動による支出	7,502,000	7,443,593	58,407		
その他の活動支出計(8)	11,399,000	11,172,093	226,907		
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		96,417,000	42,443,820	-53,973,180	
予備費支出(10)			—		
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		127,877,000	69,825,865	-58,051,135	
前期末支払資金残高(12)			242,156,162	242,156,162	
当期末支払資金残高(11)+(12)		127,877,000	311,982,027	184,105,027	

4、経営指標（2期分 法人全体）

経営指標	各指標	平成 28 年度	平成 29 年度	前年度対比 (適正值)
収益性	事業活動収入	631,717	624,996	98.9%
	事業活動支出	566,935	605,999	106.8%
	事業活動収支差額	64,781	18,996	29.3%
	収支差額率	10.3%	3.0%	(10%前後)
合理性	人件費率	58.1%	63.4%	(65%以内)
	材料費率	9.8%	10.5%	(15%以内)
	減価償却費率	11.2%	10.9%	(3%以内)
	委託比率	5.2%	5.2%	(8.5%以内)
	経費率	8.7%	9.0%	(5.5%以内)
生産性	職員一人あたり事業収入	617	609	98.7%
	労働生産性	442	437	98.8%
	労働分配率	71%	71.6%	(80%前後)

単位：千円

## 5. 人事記録

### 社会福祉法人心友会 人事記録(法人全体)

#### 職員体制 (平成30年3月31日)

職 種	男性職員			女性職員			合計			常勤換算
	正規	準職員	パート	正規	準職員	パート	正規	準職員	パート	
管理者	3			1			4	0	0	4.00
生活支援員	15	3	28	19	2	40	34	5	68	80.00
看護師				1		3	1	0	3	2.30
栄養士					1		0	1	0	1.00
相談員			1				0	0	1	0.40
事務員				3	2	1	3	2	1	5.10
合計	18	3	29	24	5	44	42	8	73	92.80

#### 職員年齢構成比 (平成30年3月31日)

年齢と性別	年齢区分		20歳未満	20代	30代	40代	50代	65歳未満	65歳以上	計
	男	正規	0	7	6	3	2	0	2	20
		非正規	0	1	1	2	2	2	22	30
女	正規	0	16	2	7	2	1	0	28	
	非正規	0	0	1	14	11	10	9	45	
計	正規	0人	23人	8人	10人	4人	1人	2人	48人	
	非正規	0人	1人	2人	16人	13人	12人	31人	75人	

#### 職員の勤務体制

職 種	勤 務 体 制
管 理 者	日 勤 8:30 ~ 17:30 常勤で勤務
生 活 支 援 員	早 番 6:00 ~ 15:00
	日 勤 8:30 ~ 17:30
	遅 番 12:00 ~ 21:00
	管 理 宿 直 8:30 ~ 9:30
夜 勤 17:30 ~ 9:30	入所施設は管理宿直と合わせて毎日3名体制
世 話 人	日 勤 8:30 ~ 17:30 土日を中心に日中支援
	夜 勤 16:00 ~ 9:30 グループホームは1施設1人の夜勤世話人が常駐
看 護 師	日 勤 8:30 ~ 17:30 夜間、休日でも対応します
栄 養 士	日 勤 8:30 ~ 17:30
事 務 員	日 勤 8:30 ~ 17:30
相 談 員	日 勤 8:30 ~ 17:30

#### 職員の割合、平成29年度資格取得者、有資格者について

職員区分	職員数	割合
正規職員	42	34.15%
準職員	8	6.50%
パート職員	73	59.35%
合計	123	100.00%

資格名	取得人数
介 護 福 祉 士	3名取得
社 会 福 祉 士	1名取得
知的障害者援助専門員	9名取得
福祉住環境コーディネーター2級	4名取得
施設長認定資格	2名取得
日商簿記3級	1名取得

保有資格	人数
社会福祉士	5名
介護福祉士	17名
精神保健福祉士	1名
福祉施設士	3名
知的障害福祉士	3名
知的障害者援助専門員	27名
保育士	10名
介護支援専門員	3名
看護師(準看護師含む)	4名
管理栄養士	1名
衛生管理者	1名
福祉住環境コーディネーター2級	8名

